

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立喜連北小学校

令和8年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

安全・安心な学びの場としての学校の構築に向け、自己肯定感が高まる教育活動の推進・機動性ある組織的対応・関係諸機関との緊密な連携・校内環境の整備等に注力してきた。少しずつではあるが、改善傾向がみられ、落ち着きのある安全・安心な学びの場になりつつある。さらなる改善に向けて、今後も継続的な取組が必要である。

国語・算数共に「小学校学力経年調査」平均正答率の同一母集団での経年比較において、学年差はあるが学年が上がるにつれ、伸び悩んでいる。

運動面では、日常的に運動している子とそうでない子との差があることが大きな課題となっている。

学校現場におけるデジタル化が加速され、本校においても授業をはじめとする学びや生活の中で学習者用端末等を活用する場面が日常的にみられる。今後は、より効果的な活用の仕方を先行実践から習得していく必要がある。

「教員の働き方改革」については、令和7年度においては、時間外勤務平均時間が校種別の大阪市平均時間とほぼ差異はないが、個人差が大きく、その改善が本校喫緊の課題である。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を**90%以上**にする。
- ・小学校経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**90%以上**にする。
- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を**100%以上**にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**70%以上**にする。
- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より**0.3ポイント**上昇させる。
- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より**0.3ポイント**上昇させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**80%以上**とする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を**70%以上**にする。
- ・「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、時間外勤務時間について、年**350**時間を超えて実施する教員をゼロにする。
- ・小学校経年調査における「読書は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を**80%以上**にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を**90%以上**にする。
- ・小学校経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**90%以上**にする。
- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を**95%以上**にする

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**70%以上**にする。
- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より**0.3ポイント**上昇させる。
- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より**0.3ポイント**上昇させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**80%以上**とする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を**70%以上**にする。
- ・「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、時間外勤務時間について、年**350時間**を超えて実施する教員をゼロにする。
- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を**80%以上**にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立喜連北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を<b>90%以上</b>にする。</li> <li>・小学校経年調査における「自分には、良いところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<b>90%以上</b>にする。</li> <li>・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における『『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている』と回答する教員の割合を<b>100%以上</b>にする</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現①】</b></p> <p>子どもの知的好奇心や探求心を生み出す授業を提供する。また、児童が人間関係をよりよく構築できるような機会を定期的に設け、トラブルが起こった際は迅速に対応に当たる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態に応じた活動や課題設定を行うとともに、児童の思いや気づきを適切に把握できるよう授業の終わりに振り返りを書く活動を継続的に行う。</li> <li>・月一回のたてわり班活動やあいさつ習慣を通して、児童学年を超えたつながりを持つとともに、児童間のトラブルには、迅速に対応し、基本的に解決して下校させる。必要であれば、保護者へ連絡をする。</li> </ul>	
<p>取組内容② <b>【基本的な方向1 豊かな心の育成②】</b></p> <p>係活動、当番活動、委員会活動など、様々な行事を通して自己有用感を高める事が出来るような機会を設ける。また、クラスでいいところ見つけを学期に一回以上設置することで、互いのいいところを認め合えるようにする。さらに、こころの天気などの手段を用いて、児童理解に努めるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスでいいところ見つけを学期に1回以上は設定する。</li> <li>・係活動、当番活動、委員会活動、行事などを実施する。</li> <li>・こころの天気などを活用し、児童理解につなげる。</li> </ul>	

<p>取組内容③【<b>基本的な方向2 安全・安心な教育環境の実現③</b>】</p> <p>いじめを許さない学級・学校づくり」を理念とし、子どもたちがお互いによく理解し合い、相手の立場に立って考える機会を多く設定する。</p> <p>また、全ての子どもが自他の尊厳を認め合い、好ましい人間関係や教職員との信頼関係を確立できるような集団づくりに努める。</p> <p>常に、いじめや問題行動の早期発見に努め、個々のケースに対して、生活指導部を中心に、教職員間の連携を図ると共に関係諸機関との連携を密にするなどして、状況に応じた多様な対応を行う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護当番は週のうち1日は運動場へ出て見守り、事故防止に努める。</li> <li>・いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめ案件があれば複数の教員で速やかに対応する。</li> <li>・いじめ対策委員会等の場で、関係諸機関（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・区役所・子ども相談センター）との連携が必要と判断した場合、管理職は速やかに、関係諸機関に連絡する。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市立喜連北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.3ポイント上昇させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.3ポイント上昇させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上とする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上②】</p> <p>国語科を研究教科として取り組むことを通して、教員一人一人のさらなる授業力の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科の研究授業・研究討議会を年6回行う。</li> <li>・国語科に関する研修を年3回以上行う。</li> <li>・中学年以上に対して実施する学習アンケートの「国語の学習は好きですか。」の項目に対し、肯定的回答をする児童の割合を4学年とも80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上④】</p> <p>国語科の学習において、漢字を書く力を高める、文章表現力を高める、語彙力の向上を図る。</p>	
<p>指標</p> <p>月に1回、国語タイムを設け、学習に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視写、漢字、言葉を広げる(言い換え・仲間分け・反対語など)、接続語、テーマを決めて一言作文など、学年に応じたプリントに取り組むことで、基礎の定着や文章表現力、語彙力の向上を図る。</li> </ul>	

<p>取組内容③【<b>基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上⑮</b>】 基礎学力の定着を図る。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レディネス等を活用し、どの程度基本的な内容が定着しているのかを把握することで一人一人に適した学習計画を立て、指導に活かす。</li> <li>・ICTを効果的に用いて、楽しく、継続して学習に取り組めるよう工夫する。</li> <li>・朝の時間やすきま時間を利用して、基本的な内容の定着をねらいとしたプリント学習を実施する。</li> </ul>	
<p>取組内容④【<b>基本的な方向5 健やかな体の育成⑯</b>】 学習カードやICTの活用、体育集会の企画・実施により、子どもたちが運動やスポーツに積極的に親しむ機会を確保するとともに、健康に配慮した生活を送る意識を持たせる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じて学習カードを作成・配布し、日々の運動の様子を記録する。</li> <li>・日々の体育の授業において、学期に一回以上、可能な活動時にICTを活用し、運動の様子を子ども同士で記録・共有できるようにする。</li> <li>・月1回の清潔調べるを行う。</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

## 大阪市立喜連北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を<b>70%以上</b>にする。</li> <li>・「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、時間外勤務時間について、年<b>350</b>時間を超えて実施する教員をゼロにする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を<b>80%以上</b>にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【<b>基本的な方向6 教育DXの推進⑳</b>】</p> <p>個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて ICT 教育を推進する。また、ICT 機器の活用による子どもの生活や心の状況を可視化することを通して、経年的・客観的に子ども理解を図る。そのため、教職員のスキルアップも図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ(心の天気・Google Classroom やタブレットドリル・デジタル教科書など)を毎日活用する。</li> <li>・ICT 活用に関する情報を学期に2回提供する。</li> </ul>	
<p>取組内容②【<b>基本的な方向7 人材の確保・しなやかな組織づくり㉑</b>】</p> <p>業務における ICT 機器の活用促進を進めるとともに、ICT 支援員を積極的に活用し業務の効率化を図る。また、SSS を有効活用する。日々の最終退勤時間の目安を 18:00 とし、繁忙期等個々の業務内容に合わせて年間で調整していく。ゆとりの日を週2回設定し、うち1回は全員 17:00 までの退勤を促す。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務時間が 40 時間を超える月数を全教職員が 5 か月以内とする</li> </ul>	
<p>取組内容③【<b>基本的な方向8 生涯学習の支援㉒</b>】</p> <p>読書環境の充実により、読書活動の活性化を図る。朝の読書タイム・図書館開放・ボランティアの方による「おはなし会」などの「読み聞かせ」等を推進する。また、書物の充実にも取り組み、図書館内の環境整備等もすすめることにより、調べ学習の習慣化など、読書好き・読書活動に積極的な姿勢をもつ児童の育成に努め、読書の習慣が身に付くようにする。</p> <p>また、平野区より全校の子ども達に配布された「読書ノート」も活用することで、子どもの主体的な学習意欲を育成する。</p>	

指標 ・小学校経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	